

令和2年 第16回(定例会)

厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和2年12月28日(月)午後2時30分

2 閉会

令和2年12月28日(月)午後4時00分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 池川 徹 金光 えり 長門 茂明 日西 大介

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 宮下 桂 生涯学習参事 甫 一樹

5 会議録署名委員の指名

(池川 徹)

(日西 大介)

6 教育長報告

(1) 行事参加等の動向 (資料1)

(2) 第4回厚真町議会定例会 12月10日～11日

7 所管報告

学校教育グループ

(1) 令和2年度第3回厚南地区学校運営協議会(11月25日/上厚真小) (資料2)

(2) 食物アレルギー研修会(12月2日/総合ケアセンターゆくり) (資料3)

(3) 教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会(12月9日) (資料4)

(4) 小中一貫教育推進委員会・教育研究所設立準備委員会(12月11日) (資料5)

(5) 厚真中学校ふるさと学習成果発表会(12月17日)

(6) 厚真町教育支援委員会(12月17日) (資料6)

(7) 12月校長会議・教頭会議 (資料7)

社会教育グループ

(1) 放課後子ども教室冬の特別教室

「むかしの厚真にタイムスリップ!森のお仕事・手しごとデイキャンプ」

(12月19日(土)/埋蔵文化財発掘事務所・環境保全林/小学生17人参加)

(2) 放課後子ども教室冬の特別教室

「つくって遊ぼう&つくって使おう 森からのおすそわけクラフトデイキャンプ」

(12月20日(日)／福祉センター／小学生24人参加)

(3) 長期休業中の学習会

(12月26日(土)27日(日)／福祉センター／小学生60人参加)

【質疑なし】

8 同意

同意第1号 厚真町教育委員会表章について

【質疑なし】

9 議案

議案第1号 教育委員会事務局職員の人事について

【質疑】

池川委員 : 田中主幹の異動は教育委員会から首長部局への出向という表現か。

宮下課長 : 教育委員会発令上はあくまでも出向となる。

10 協議事項

(1) 厚真町教育振興基本計画(改訂版)について (資料8)

(2) 令和3年度教育委員会所管事業予算要求内容について (資料9)

【質疑】

金光委員 : 厚真町教育振興基本計画(改訂版)6ページの「自分らの地域課題に～」のところはこの表現でよいか。

宮下課長 : 「自分たち」に修正する。

金光委員 : 15ページからの基本方向体系図の前の計画の所でもこれが体系図ということになっているが、「図」ということでよいか。

宮下課長 : 「図」ではなく「一覧」に修正する。

金光委員 : 28ページ、施策の方向性の3つ目の部分で、「人権感覚」に対して「豊か」という表現は適切か。「望ましい」とするべき。

遠藤教育長 : 「望ましい」に修正する。

金光委員 : 読書活動推進の中で、第2次厚真町子ども読書活動推進計画はどういったものか。学校図書室の整備・充実に関して、冊数の問題だけではなく図書室の設備の面でもっと充実させる必要性はないか。限られた予算やスペースで充実を図るだけでなく、読書活動推進を先進的に推進している地域に視察に行くことなどもあって

も良いと思う。

金光委員 : 30 ページ「健やかな体を育む子どもの育成」の主な施策(4)外遊び週間などの設定というのは、学校教育の中で外遊びを強化する1週間を設定するという意味か、外遊びの習慣を形成する取り組みを行うというという意味かどちらなのか。

遠藤教育長 : 学校の実態としては外遊び奨励・強化週間を設けているので「週間」で統一したい。

金光委員 : 38 ページ「学校施設など学校が持つ教育力を地域に活用」とあるが、これは施策(5)の学校施設の開放に該当するのか？学校が持つ教育力という表現では得意なことがある先生が社会教育の講師となるというイメージが想起されやすいと思うのだが、単に施設を開放するという意味であれば「学校が持つ教育力」という表現は違うと思われる。

遠藤教育長 : 誤解のない表現に改める。

金光委員 : 基本方針で「ふるさとの歴史と文化財の活用について」が示されているが、地震の復旧で寺社仏閣に文化財保存支援が行われた。施策の(4)で文化財に関する情報発信との記述があることから、今後寺社仏閣に関しても指定文化財としてホームページ等で積極的な情報発信が必要ではないか。

遠藤教育長 : 以前も類似した指摘をうけた。現地での案内看板設置も含め情報発信を強化していく。

金光委員 : 各寺院にも協力を仰いでよいと思う。

甫参事 : 厚真町の指定文化財としてまとまった情報発信が無いので情報発信を進めたい。

金光委員 : 紹介があれば各寺社仏閣にも文化財として見に行く人がでてくるかもしれない。案内まではいかななくても紹介するようなことは必要ではないか。

金光委員 : 42 ページ「青少年スポーツと高齢者スポーツの推進を」「本町の特性を活かして推進します」とあるが、現段階で青少年スポーツ・高齢者スポーツの推進にはどういったものがあるのか。

甫参事 : 「ふまねっと」という教育委員会主導で普及したものはあるが、現状では高齢者スポーツの分野が弱い。

金光委員 : 各種指標が出ている中で現状が目標指標に届いていないものがある。それを踏まえての計画だと思うが、特に低い部分の例えば「難しいことや失敗を恐れなくて挑戦していますか」という問いに対し小学生の30%しか出来ていないなど気になるので、なんらかの対策を講じなくてはならないと感じる。

宮下課長 : 先ほど金光委員からご指摘のあった「読書活動推進」についていくつか確認したい。ご指摘の内容が前段と後半とあったように思われるが、一つめは、いわゆる学校図書室の設備そのものが現在の学校のニーズとマッチしていないのではないかと、いうご指摘で間違いないか？

金光委員 : 各学校がどのように感じているかは不明だが、上小のように本来の図書室の場所ではないところに図書スペースが設けられていたりする例がある。裏を返すと本来の多目的ホールの役割は果たしているのかといった観点から、本来の学校図書室の

在り方を改めて見直していくことも必要ではないか。各学校が現状で不都合に感じていなければよいが、子どもの数が増加している状況もあり気になる。本来の図書室自体のスペースが十分とれないために出来ない部分などを参考に、改善できるところはあると思う。

宮下課長 : もう一つ「厚真町子ども読書活動推進計画」については教育振興推進計画の部分計画として別冊で発行しているものがあるので、改めてお渡しさせていただく。

池川委員 : 中学校陸上グラウンド整備事業で陸上競技人口は50人程度とあったが指導者は現在何人ほどいるのか？

宮下課長 : 町内4名、町外（安平町）1名の5名である。

池川委員 : 令和3年当初で350万の意設計委託料であるが、計画が固まれば概算整備費が約2億となっている。特定財源を見込んでいるようだが国のお金か？

宮下課長 : 確定はしていないが、現在活用を見込んでいる財源は2分の1補助かつ補助裏に起債を充当できる「地方創生拠点整備交付金」を申請したいと考えている。

池川委員 : 補助率2分の1とは？

宮下課長 : 2分の1が国から直接補助、残りの2分の1に対して起債（地方債）を充当することとなり、このうち約7割が特別交付税措置される。

日西委員 : 公民館整備事業の改修計画とはどのようなものか？

甫参事 : すべての会館を一気に改修しようとする改修費が膨大になるので、必要な改修計画を年度ごとにちりばめて少しずつ改修していく形にしている計画のことである。

池田委員 : スクールバスの一部を委託するという話だったが、委託しない路線についてはそのまま直営を維持するということか。

宮下課長 : そのとおりである。

池田委員 : 全路線委託には出来ないのはなぜか？

宮下課長 : 今回一部を委託にしようとする理由は、ドライバーの高齢化に伴う安全上のリスクを低減させるということである。直営ドライバーを募集しても65歳以上の高齢ドライバーを採用せざるを得ない状況が長く続いている。現在いるドライバーが危険であるということではないが高齢ドライバーの健康リスクは事故リスクに直結する問題であり、現在の状況は望ましいとは言えない。経費だけを考えれば委託よりも直営の方が安いことが明らかだが、安全面には代えられないという判断である。それ以外に関しては現状維持とする判断である。

池田委員 : 教育委員にタブレットを導入する計画となっているが使用方法は？

宮下課長 : 定例教育委員会について情報共有の迅速化とペーパーレス化を図るための導入である。議案書本冊や議事録については当面紙媒体を継続するが、膨大な付属資料については電子媒体でクラウド保管を基本とし、委員さんがいつでもすぐに情報にアクセスできるようにしたい。

遠藤教育長 : 様々な活用方法が考えられる。議会に先駆けた先行事例として提案し町長査定に臨みたい。

1 1 その他

- (1) 総合教育会議の開催について 2月25日(金)午後4時00分(予定)
- (2) あつま新年交礼会について 中止
- (3) 教育委員会新年会について 中止
- (4) R2年度成人式の変更点について

1 2 次回委員会の開催日程

- ・1月28(木)午後2時30分(予定)

1 3 閉会